

事業所名

ぶれぞん星置

支援プログラム

作成日

2024年

11月

1日

法人（事業所）理念		ぶれぞん星置では、一人ひとりの発達状況に着目し、個性（魅力）を大切に支援を行っています。運動やことば、コミュニケーションなど発達が気になるお子様を対象に、その子の特性に着目し、良い所が発揮できる場面を増やし、学校生活や社会生活で出来る事を増やしていけるよう支援していきます。					
支援方針		<p>①「できた」の体験を積み重ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感覚統合の偏りをなくすためのプログラムを設定し、子どもたち自身が楽しいと思え、「できた」の体験が積み重ねられる内容で実施しています。 <p>②お子様が楽しく通える環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「楽しい」「面白い」という遊び感覚の中で物の名前を覚え、言葉を増やし、できることを一つずつ増やしていけるきっかけに、瞬時の記憶力、言葉を覚える集中力も養い、成功体験も重ねます。 <p>③ソーシャルスキルトレーニング（SST）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりに合わせたプログラムを設定し、培ってきた力を社会で活かしていくため、ソーシャルスキルトレーニング（SST）を行っています。 ・ お子様の特性や情緒面、本人を取り巻く環境などにも配慮しながら、社会や集団の中でその子らしく過ごせるように支援します。 					
営業時間		月～金曜日	10時00分	17時00分	まで	送迎実施の有無	あり（送迎範囲は応相談）
		土曜日	10時00分	16時00分	まで		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身辺自立：挨拶、食事、衣類の着脱、トイレ、荷物の管理等、生活上必要な基本的項目において、自立して行うことができるようサポートします。 ・ 生活リズムの確立：その日のスケジュールを視覚的に提示し、スケジュール管理や時間を意識して行動することができるよう促します。 ・ 食育：クッキング活動やおやつを提供を通じて食への興味関心を広げ、食べることを楽しいと感じることができるようサポートします。 ・ 健康・衛生：体調や健康管理を意識し、不調を感じた時には周囲に助けを求めることができるよう支援します。また、身だしなみを整えることを習慣化できるよう支援します。 ・ 危険認知：交通安全や、災害に備えての訓練等、自ら危険を認知し、回避する能力の向上や、不測の事態に落ち着いて行動することができるようサポートします。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体幹強化：筋力トレーニングや体幹を意識させる活動を行い、身体全体の安定性を高めます。 ・ 感覚統合：自分の身体をコントロールする能力を伸ばし、バランス感覚や姿勢保持能力の発展を図ります。 ・ 体力づくり：施設内や屋外での遊び、サーキット活動等を通じて、心肺機能の向上を図ります。 ・ リズム遊び：音楽に合わせたダンスやリズム遊びで、リズム感と協調性を育み、楽しく体を動かします。 ・ 球技活動：サッカーやポートボールなど、ボールを使用した集団での運動を通じて、視覚と運動の協応を目指します。また、他児とのコミュニケーションを増やします。 ・ 感覚あそび：小麦粘土や寒天等の感触に特徴のある素材に触れ、楽しみながら遊ぶことで、感覚過敏の軽減を目指します。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジ্ঞントレーニング：ものを目で捉える力を高め、見たものを正しく認知したり、体を自分のイメージ通りに動かしたりする機能を高めます。 ・ ソーシャルスキルトレーニング（SST）：集団の中における他児とのコミュニケーションや協力の仕方、問題解決方法を学びます。 ・ 学習支援：宿題等のサポートを行い、家庭学習の習慣化を目指します。また、基礎的な学習スキルを強化します。 ・ 感情の認識：感情の言語化、認識をすることで自己感情の適切な表出とコントロールができる姿を目指します。 ・ 問題解決能力：問題解決のステップを伝え、自分の力で答えを導くことができるよう促します。 ・ モチベーションの向上：スモールステップで小さな目標を設定し、達成感を味わうことで自信をつけ、段階的な成長を促します。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語発達支援：発音、読み書きの練習を通じて、言語に対する親和性を高めます。 ・ コミュニケーションスキルの向上：ロールプレイや会話場面等において、日常会話のスキルと社会的な適応力を養います。 ・ 非言語コミュニケーション：ジェスチャーや表情、アイコンタクトを使ったコミュニケーションを用いることで、言葉以外のコミュニケーション方法に慣れていく環境を作ります。 ・ 主体性、協調性の獲得：始まりの会やその他会の進行、遊びを決定する際にお子さま同士で意見交換し、複数名でひとつの物事を決定していくプロセスを経験する場を設けます。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルスキルトレーニング：挨拶や自己紹介、感謝や謝罪などの表現を練習し、友達との関わり方を体験する機会を設け、支援します。 ・ リーダーシップの育成：集団活動を通じて、集団をまとめる、指示を出す等のリーダーとしての行動を実践的に養います。 ・ 協力活動：制作活動やグループゲームを通じて、友達とのやり取りを楽しみながら、チームワークと協調性を育みます。 ・ 社会参加活動：近隣老人ホームとの合同行事等、地域社会とのつながり、交流を図ります。 ・ コミュニケーションの機会：グループでのディスカッションや対話の時間を設け、意見交換やコミュニケーションのスキルを養います。 ・ 自己肯定感の育成：成功体験の共有や日常的に他者を褒める習慣を通じて、自己肯定感を高め、互いの成長を喜び合う機会を提供します。 					
家族支援	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎利用時にコドモアプリを通じて、その日の様子をお伝えします。 ・ 定期面談：定期的な面談（6か月に1回以上）で、お子さまの成長や課題について保護者様と話し合い、心のケアをサポートします。 ・ 情報提供：研修会等を通じて、最新の情報や支援方法を共有し、家族の知識を深めます。 ・ 家庭での支援方法の提案：家庭学習プランや行動管理の方法を提案し、家庭でも継続的に子どもを支援できるようサポートします。 ・ 相談窓口の設置：アプリ、メール等を積極的に活用し、オンライン相談を設け、いつでも相談できる環境を提供します。 ・ 行事に保護者様を招待し、お子さまとお友だちとの関りを見ていただく機会を提供します。 					
地域支援・地域連携	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の施設利用：図書館や公園、その他施設など、地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。 ・ 地域連携の強化：地域のNPOや学校、福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。 ・ 情報提供と啓発活動：SNSの積極的な活用により、地域に活動内容や障がいについての理解を広めます。 ・ 緊急時の地域連携：地域と連携した防災訓練や緊急支援ネットワークを構築し、災害時の対応力を高めます 					
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外出行事：月に1回以上（公園や公共施設等） ・ クッキング：月に1回以上 ・ 季節行事：夏祭り、クリスマス会、お誕生日会等の実施 						